

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2375601016
法人名	社会福祉法人 嘉祥福士会
事業所名	グループホーム あま恵寿荘
訪問調査日	平成20年5月15日
評価確定日	平成20年6月18日
評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2375601016		
法人名	社会福祉法人 嘉祥福祉会		
事業所名	グループホーム あま恵寿荘		
所在地 (電話番号)	愛知県海部郡美和町大字二ツ寺字西高須賀2番地 (電話)052-445-0211		
評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター		
所在地	愛知県名古屋市中区鶴舞3-8-10 愛知労働文化センター3F		
訪問調査日	平成20年5月15日	評価確定日	平成20年6月18日

【情報提供票より】(平成20年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年9月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6 人, 非常勤 2人, 常勤換算 7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	67000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,500 円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	6 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名	
要介護3	1 名	要介護4	0 名	
要介護5	2 名	要支援2	0 名	
年齢	平均 82 歳	最低	76 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	安藤病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設7年目を迎えたホームは、広々とした田園の中にあり、空気が良く自然環境に恵まれている。前面は地方道路が走り、背面には畑を挟み住宅がある位置に、コンクリート造りの介護複合施設の一画がホームとなっている。隣接住宅が畑を挟んで離れている環境で併設施設を最大限、活用し交流の場とする等、日々暮らしを支える支援を行っている。ケース記録表にケアプランを併記し、日々の支援の中でケアプランを活かした利用者本位のケアマネジメントや、管理者の行動力は、家族アンケートからも高い信頼と安心感が感じられ、地域からも頼られる存在になっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では、「地域の付き合い」等の気付きが提案されていた。運営者や、管理者、職員は外部評価を活かすために課題を共有し、具体的に取り組めるところから、意欲的に取り組んでおり、順次改善している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は2名の職員と話し合い、管理者がまとめた原案をミーティングで議論し最終的に施設長が確認した。前年度の外部評価の結果を活かして経営者・管理者・職員はサービスの質の向上に取り組む姿勢を感じた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	家族代表・美和町民生委員・高齢者部会会長・町民課担当者・特養生活相談員等の参加で開催している。地域の代表が加わり地域行事の把握ができ、地域行事への参加が容易になった。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会・行事の参加率はよく交流を深めている。家族アンケートより運営者・管理者・職員と家族との信頼関係をうかがえる。重要事項説明書には苦情等申立先の第三者委員・美和町役場福祉課・愛知県国保連合会が記してあり家族の意見を出しやすい配慮がなされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	ホームの行事には地域住民を招待している。施設内の井戸水が利用でき、災害時に地域住民の避難場所となっている。また、備蓄もあり重要な社会資源となっている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念をふまえたホームの理念「その人らしさに共感し、地域の中で普通の生活を送って頂けるよう支援する。」を正在している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はスタッフルームの目のつき易い場所に掲示されている。判りやすい言葉で書かれており職員にも周知している。ミーティングでは全職員の意識の共有を図っているが、具体的なケアの実践には至っていない。		理念 方針 具体的年度目標 個人目標へと展開し、日々の取り組みが理念の実現に繋がり、職員に理解される事を期待したい。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設行事(夏祭り・家族会)に地域住民を招待している。ボランティアも(日舞・和太鼓の演奏等)受け入れている。地域行事にはできるだけ参加して交流に努めている。		
no					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者・職員2名で検討し、施設長とも話し合い管理者がまとめた。まとめた原案を全職員で議論し最終的に施設長が確認した。前年度の外部評価の結果を活かしてサービスの改善に取り組む姿勢を知ることができた。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族代表・美和町民生委員・高齢者部会会長・町民課担当者・特養生活相談員等の参加者12名でメンバーを構成している。。		運営推進会議では地域の主要なメンバーが参加しているので、ホームより地域の理解・支援を積極的に働きかけ、また外部評価実施後にはその結果の検証や今後の改善活動の進め方を議題として活発な意見交換を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市役所へ出向き行政との関わりを保ちサービスの質の向上に取り組んでいる。また、地域の高齢者介護の協働に向けて、交流を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員は家族の来訪時に暮らしぶりや健康状態を報告している。毎月発行の家族宛通信、年一回の家族会を開催する事で、家族とのコミュニケーションを図っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談窓口を明記し、玄関にも分かりやすく掲示してある。利用者家族の家族会・行事への出席率が良い事ならびに、家族アンケートからも、家族とホームとの信頼関係が伺える。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は利用者へのダメージを配慮し、人事異動は最小限に抑えている。併設の施設への異動者2名あったが利用者に不安を与えないように馴染みの職員が支援できるよう配慮をしている。家族への報告はホーム通信の他に改めて異動のあった事を連絡している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体の年間研修計画がある。外部研修も管理者が愛知県グループホーム研修委員となり年間4回以上参加している。研修会に参加できない職員にはDVD・資料の回覧をしている。また、職員の資格取得にも積極的に支援をしている。		管理者は年間研修計画の中で、職員の経験や習熟度に応じて、段階的に「力量」を向上し、育成していく方策の具体化を期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	愛知県グループホーム研修委員として管理者が参加している。研修会・相互訪問の活動に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用者がホームに馴染めるように入居前に本人・家族をホームに招いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者は自己決定の基に役割を持ち生活している。職員は利用者「寄り添うケア」を心がけている。菜園の仕事等、利用者から学ぶ姿勢をとっている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	日常的な関わりを通じて利用者の希望や意向の把握に努め、一人ひとりの想いを尊重して支援に活かしている。		入居時の聞き取りをはじめとして、入浴や食事等の日常の関わりの中で想いや要望を引き出し、利用者から新しく知り得た情報、生活歴等は職員間の共通の話題に止まらず個人別ファイルを作成し、写真を始め、個人の情報を集約する事を期待したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者・家族のニーズを捉えている。利用者本位の計画を分かりやすく立案し、利用者・家族の署名・捺印もされている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画は毎月全員で見直しを行っている。ケース記録の上位に「介護計画」を併記し「配慮すべき事項」も併記して日々の支援に活かしていることは顕著である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関への通院・受診の他ドライブ・買い物 訪問理美容の支援を行い、ホームのイベントには地域・家族を招いている。		ホームの利用者に対しての多機能サービスは充分に行っている。次のステップとして、地域の高齢者が状況に応じて必要なサービスを馴染みの環境で受けられるように、認知症ケアや介護全般の情報の発信源となる事を期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は利用者、家族の要望に応じる意向は伝えてある。現在は要望により協力医療機関の4施設(歯科を含む)を支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設より本人・家族から終末期の希望はない。ターミナルケアに関しての方針は確立していないが、希望があれば受け入れられるように慎重に検討したい。併設の施設・協力医療機関との密接な連携がとれているので重度化した利用者は併設の施設へ移る事が多い。職員は施設に移った利用者を度々訪問し馴染みの関係を継続している。		本人・家族より、ホームでの看取りの希望も考えられるので、希望があった場合対応が出来るように方針を確立し、職員の教育も行き、万全の体制作りを期待したい。
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の尊厳の保持のため言葉かけや対応に心がけている。写真・掲示物等について家族の了承を取り、個人情報保護に対する配慮を知ることができた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活歴・趣味・関心事把握して一人ひとりのペースや希望に沿い自立を妨げない支援をしている。併設のデイサービスに新聞を取りに行く利用者、名札付きの専用の花壇を持つ利用者と日常のその人らしい暮らしぶりを知る事ができた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は施設の管理栄養士がたてている。食事の準備・盛りつけは利用者(男性2名女性1名)が職員と一緒にこなっていた。日常の穏やかな流れを感じることができた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者一人ひとりの希望に添い毎日利用でき、夕食後も支援している。障害の度合いにより機械浴の利用者は併設施設の特浴を使用している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のニーズに応じて菜園のスペースが確保され「 様の菜園」の記された看板が立てられ張り合い喜びのある支援をしている。他に洗濯物干し・たたみ、食器洗い・食器拭き、水やり・ホールの清掃等それぞれに役割がある。また、カラオケはいつでも使用が可能で楽しみの一つになっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に近隣の散歩・買い物等に出かけ、隔月にランチを計画している。又、特養と合同のピアガーデン、町内の行事・イベント(クリスマスイルミネーション、花火など)にも出かけている。		全体的な外出支援は充分なされているので、次のステップとして職員の配置から難しいとは思われるが、個々の利用者の行って見たい時にいきたいところに、行ける外出支援に取り組む事を期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門扉の施錠はなく玄関は開放されていた。居室から庭に出られ、レトロなベンチが置かれていて屋外で心地よく過ごせる配慮がされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	施設全体で昼・夜想定での避難訓練を定期的に行い、また施設は災害時住民の避難場所となっている。		避難訓練参加は併設施設と合同で夜間想定訓練等、しっかりした取り組みが行われているが、地域の方々の参加や協力を得られるように町内会や運営推進委員会での呼びかけをホーム側から積極的に行うことを期待したい。また施設の井戸・備蓄を災害時の社会資源として地域に知らせる事も期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態に応じてきざみ食・とろみ食が提供されている。水分はいつでも飲用できるように常備されている。一人ひとりの食事・水分摂取状況は記録され支援に活かされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中庭に面して明るく広々とした居間、廊下は壁面でジグザグが施されオシャレな空間は利用者の憩い場ともなっている。玄関・居間・廊下等に生花が置かれている。小鳥のさえずりだけが聞こえゆっくりと居心地の良く過ごせる工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く日当たりも良く清潔感があつた。洗面台には花が飾られ、利用者が好みのペットのポスターを貼っていた。家族写真も置かれ作りつけの収納庫の中に生活感のある衣服・日用品等が持ち込まれていた。		